



漫画でわかる都産技研

# 東京テクノロジー発進!

TOKYO TECHNOLOGY HASSIN!

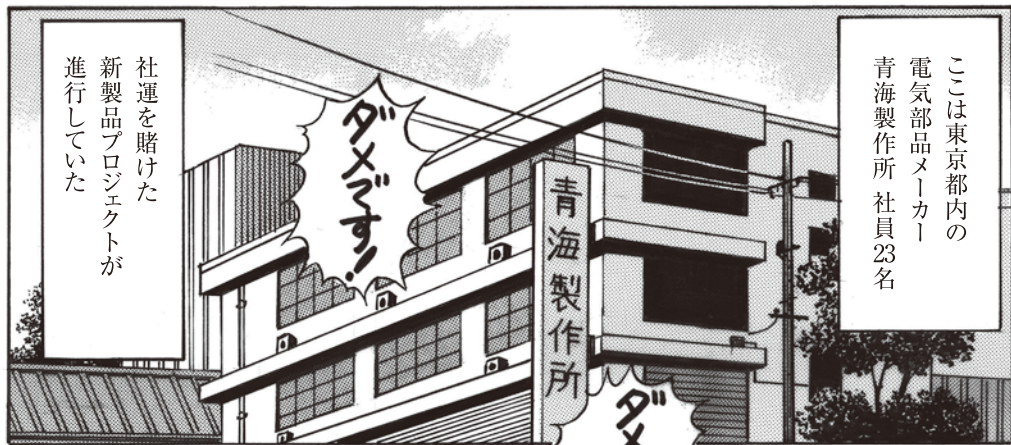
監修：弘兼 憲史  
作画：ヒロカネプロダクション



<http://www.iri-tokyo.jp>



企画 / 地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター 経営企画部 広報室  
〒135-0064 東京都江東区青海2-4-10 TEL 03-5530-2521  
登録番号23(西)21



ここは東京都内の  
電気部品メーカー  
青海製作所 社員23名

社運を賭けた  
新製品プロジェクトが  
進行していた



おい  
どうした

これじゃあ  
営業に  
回れませんよ

タメです



でもね  
図面だけじゃ  
困るんですよ

僕はこれと  
いけると  
思うんです

新製品の仕様が  
だいたい決まったんですが

漫画でわかる都産技研

# 東京テクノロジー発進!

TOKYO TECHNOLOGY HASSIN!

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターは、都内の中小企業の技術支援を行う機関です。「高度分析開発セクター」、「システムデザインセクター」、「実証試験セクター」という3つの技術支援セクターに加え、24時間利用可能な製品開発支援ラボも18室設置。また、新規産業育成のため、「環境・省エネルギー」「EMC・半導体」「メカトロニクス」「バイオ応用」の4技術分野で集中的な技術支援や研究開発を行っています。こうした東京都立産業技術研究センターの事業内容をマンガでわかりやすくご説明いたしましょう。

都産技研

CAST

青海製作所



相談担当  
上田 義明

都産技研の大ベテラン。青海製作所の相談に応じて研究員を紹介する。35年の研究所勤務を経て相談員。総合支援窓口(所属員8名)のリーダー。



広報

小出 光子

都産技研の広報リーダー。新本部を訪れた関係者や見学者に、施設の案内や説明をする。本部内で各部署を見て回り、つねに情報収集に余念がない。



営業担当

渡辺 将大

気合いが入ると熱くなる。営業の若手エースで、プロ野球田中将大選手と同じ名前なので「青海製作所のマージン」の総理の小泉里奈に密かに憧れている。



プロダクトデザイナー

島田 元

新商品のデザイン担当。デザイン重視の製品開発ということで今回のプロジェクトの仕事に燃えている。社内の「おしゃべり番長」を自認する。独身。



社長

大谷 康文

工業大学卒業後、電器メーカー勤務を経て青海製作所を設立。家電製品の部品生産で地道に業績を上げてきた。糟糠の妻(取締役)には頭が上らない。



システムデザインセクター

横井 健一

これまで5年間に1,000件以上の試作開発支援を担当してきた。休日は電器店や家電専門店めぐりをして、自分が開発に携わった商品を見るのが趣味。



光音技術グループ

服山 恒

音響に関する専門家。博士号を持つ。休日や休みに、食事や買い物に出かけた先で、つい音が気になり、音源の近くに行き確認してしまう。



総理担当

小泉 里奈

青海製作所のアイドル。短大卒業後に入社。渡辺将大と同じ年齢だが、社歴は長いので先輩にあたる。かわいだけでなく客観的な意見を持っている。

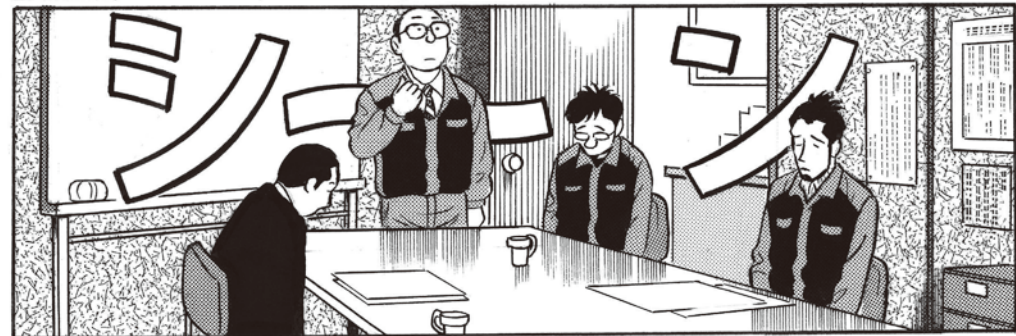
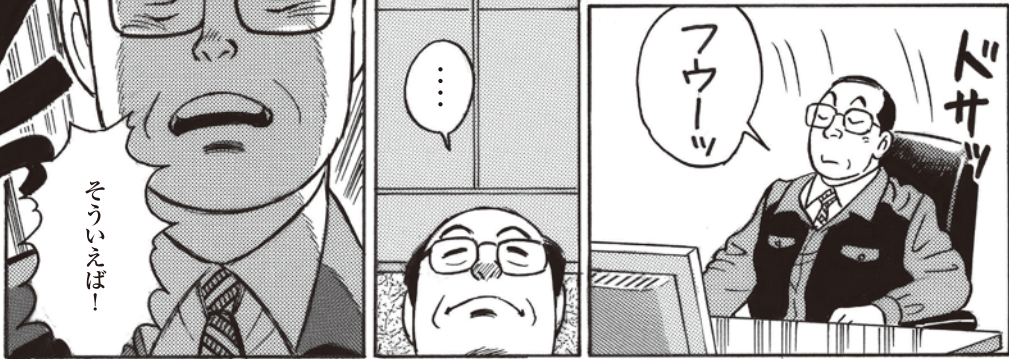
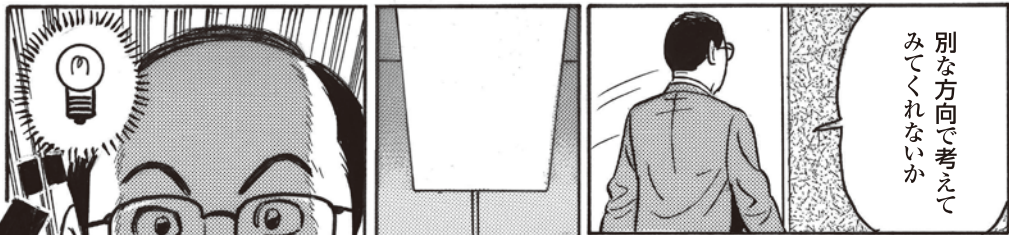
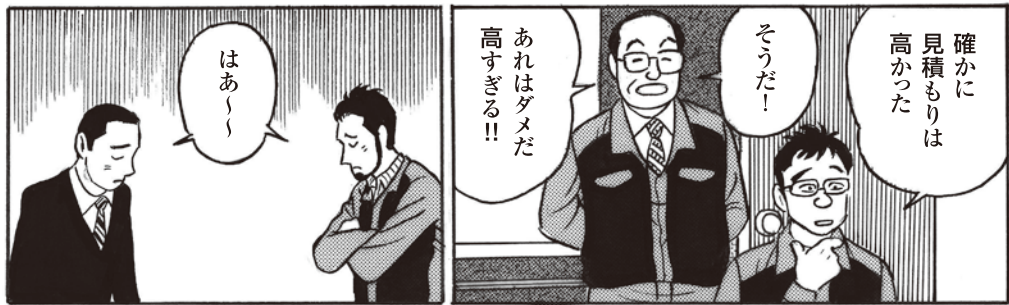


開発担当

沢本 研太

製品開発のプロジェクリーダー。社内きっての論理派。仕事に関してはとことん理詰め。真面目だが、ほかのことにはまるで無頓着。一男一女の父。

※この物語はフィクションです。





どれどれ  
ほーっ  
これか

試作品を  
検索して  
みてよ

この前商工会で  
太田さんに聞いてな

いろいろ相談に  
のってくれるらしいぞ！

ん？



システムデザインセクター  
これかな

聞いてないか…

なんだって  
三次元造形機？



売れる  
デザイン  
ブランド…

支援して  
くれるんだ

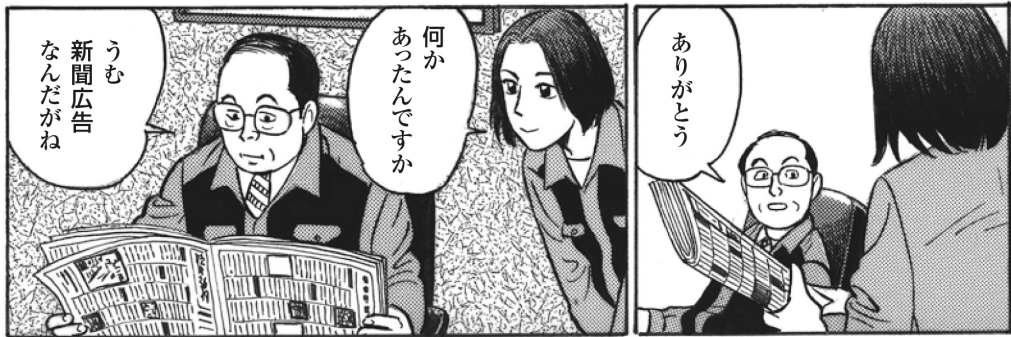
三次元造形機って  
なんですか？

わからん



島田君  
ちよつと電話で  
聞いてみて

はい



何か  
あつたんですか

うむ  
新聞広告  
なんだがね

ありがとう



お!  
これだ

おーい  
ちよつと来てくれ！



ちよつと  
これを検索  
してみてください

はい

出ました！



カヤ  
カヤ

Live Search

ツール ヘルプ

産業技術研究センター

産業技術研究センター

研究センター

LOGY RESEARCH INSTITUTE

技術支援 製品開発支援 研究開発 産業人材育成 産業交流 技術

お客様とともに歩む  
都産技研

マスコットキャラクター  
チリン

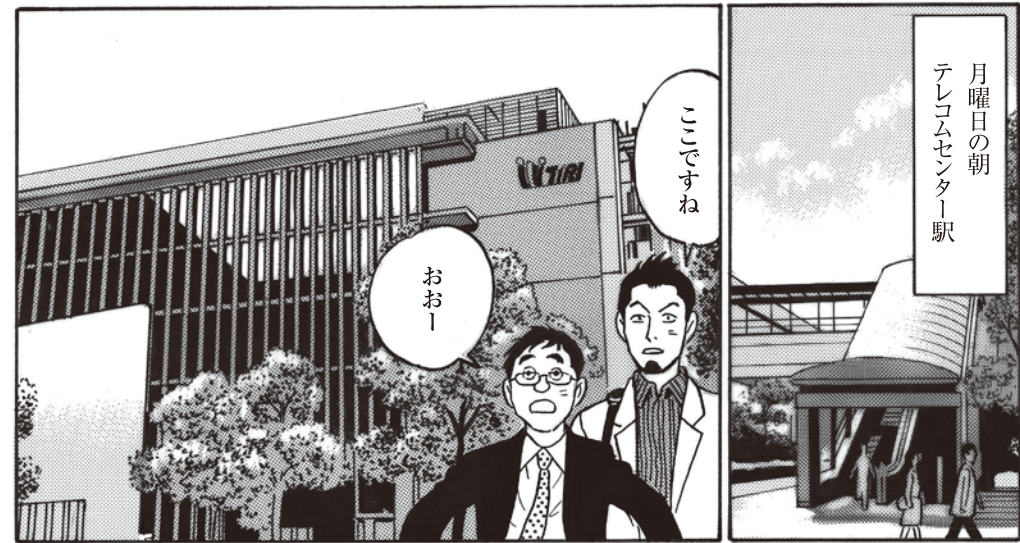
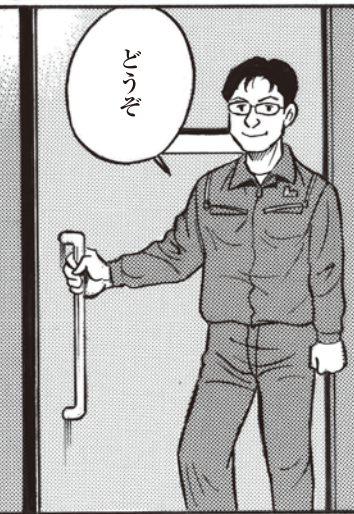
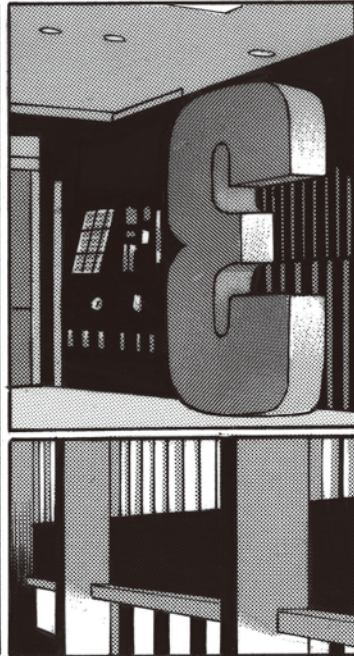
新着 お知らせ 技術セミナー・講習会

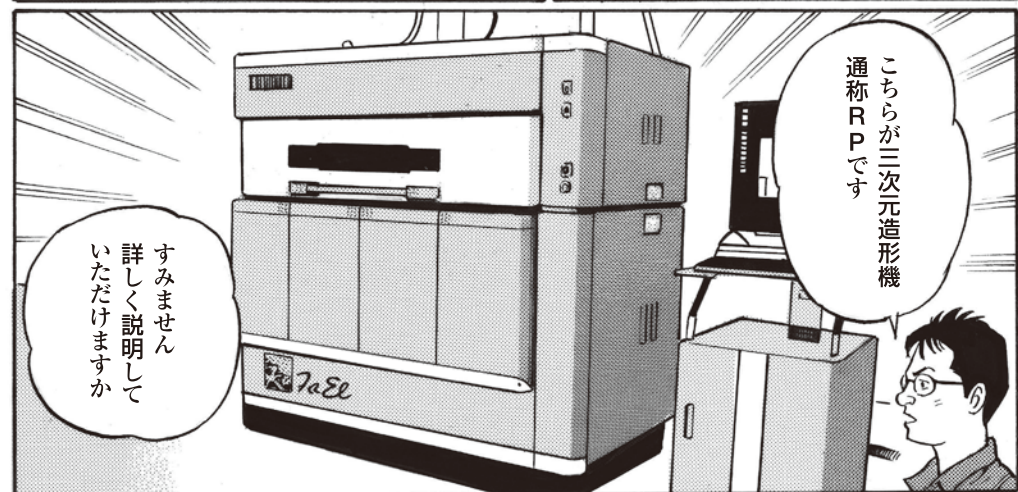
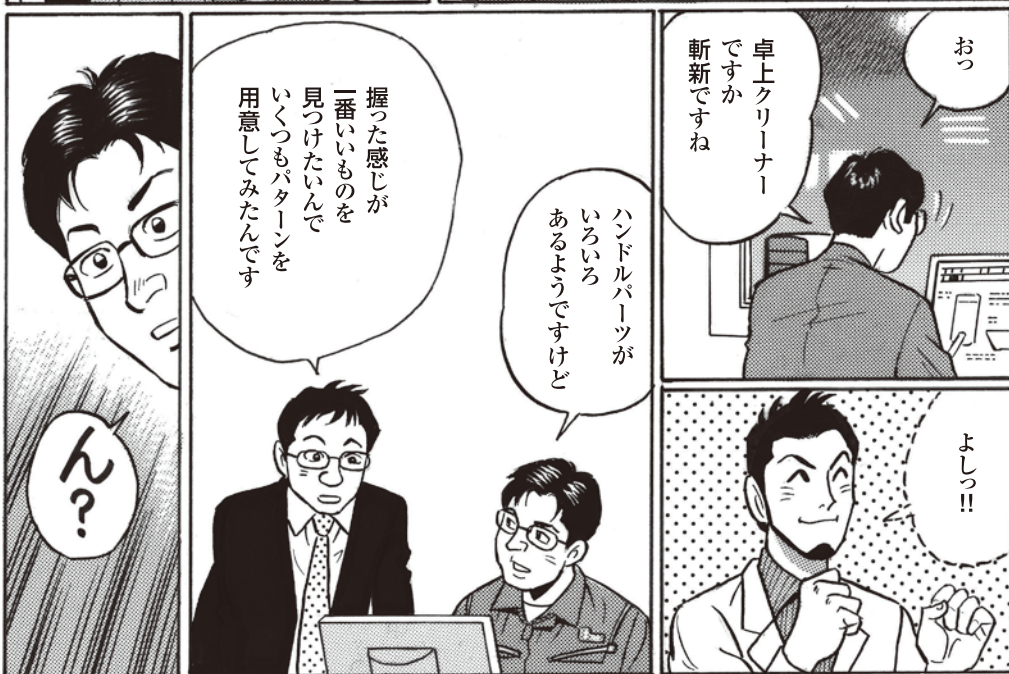
2011年11月11日 【産学連携事業】講習会「福祉ロボットの活用」安全で省エネ・省資源社会の構築「セラミック化学分析技術セミナー」のご案内を掲載しました【NEW】

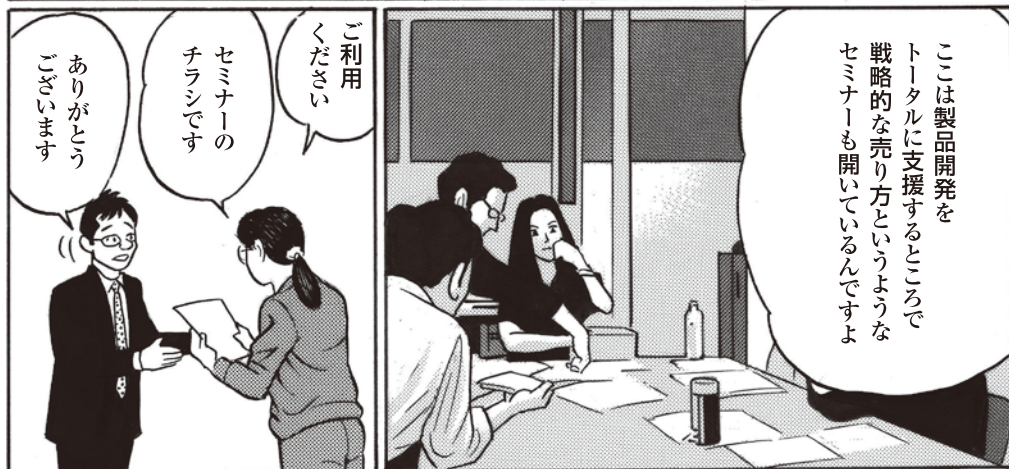
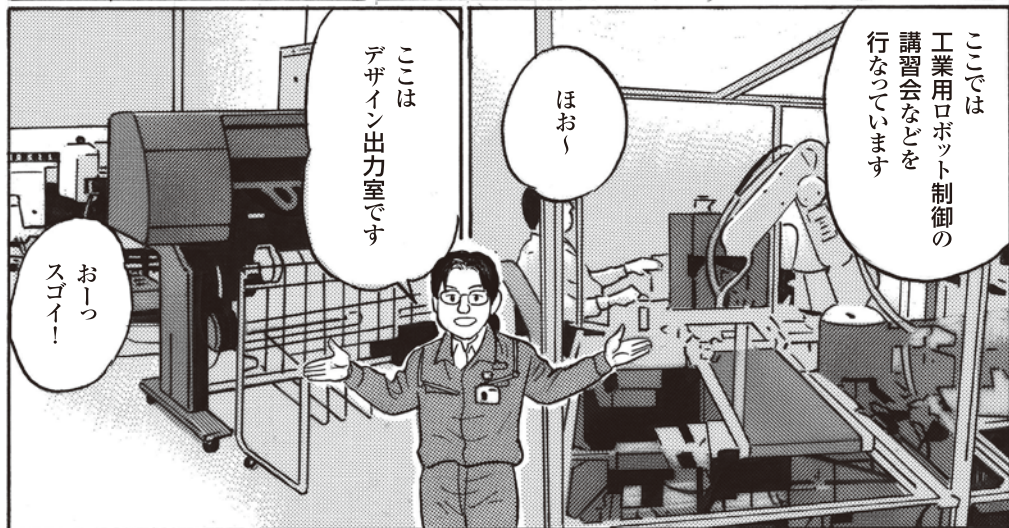
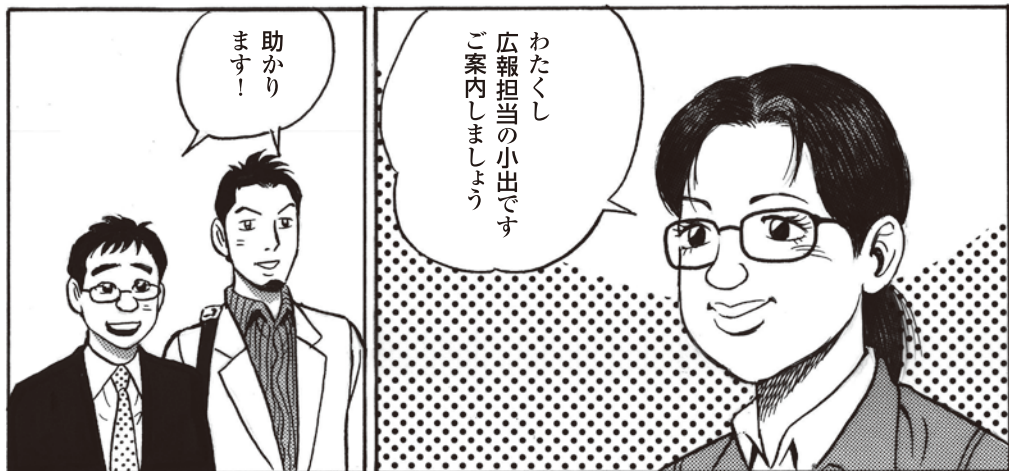
2011年11月10日 【入札情報】入札予定案件(物品等)を掲載しました【NEW】

2011年11月10日 開催イベント「IDCAF公開シンポジウム～寄付加価値

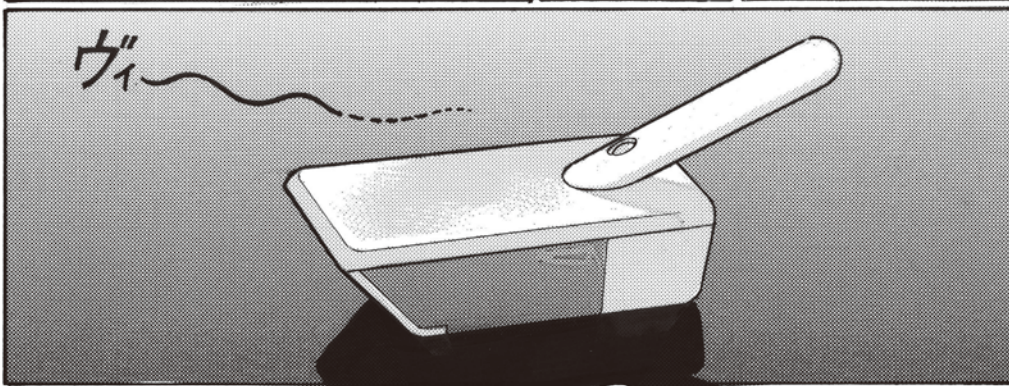
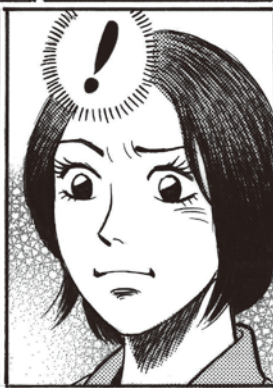
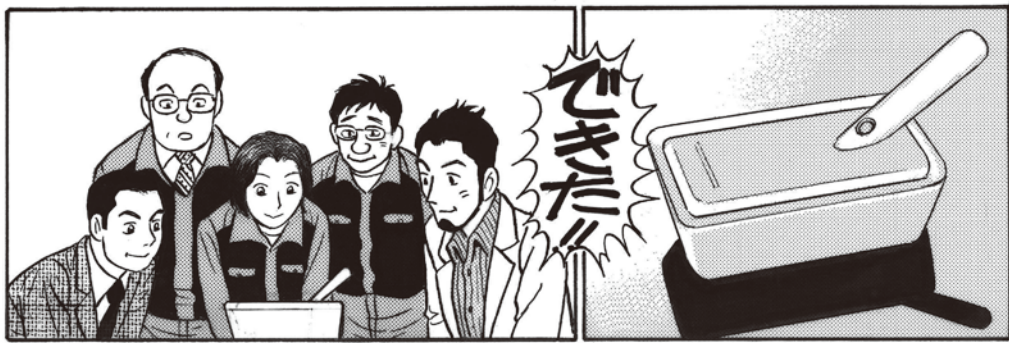




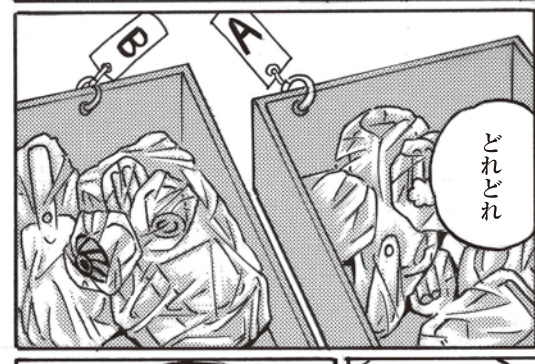
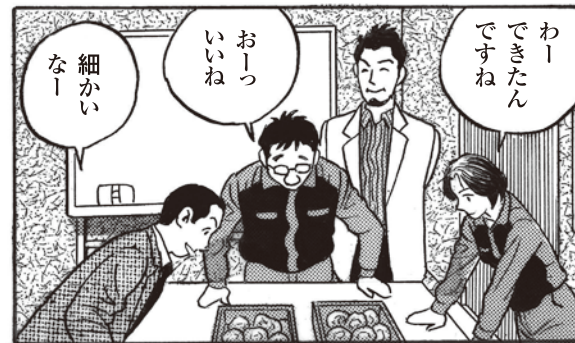


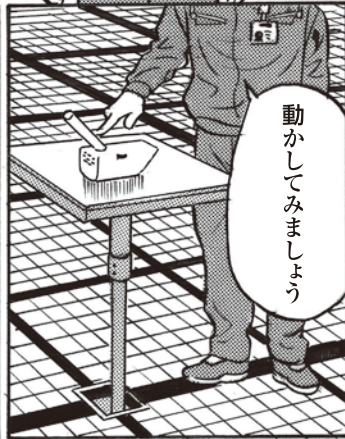


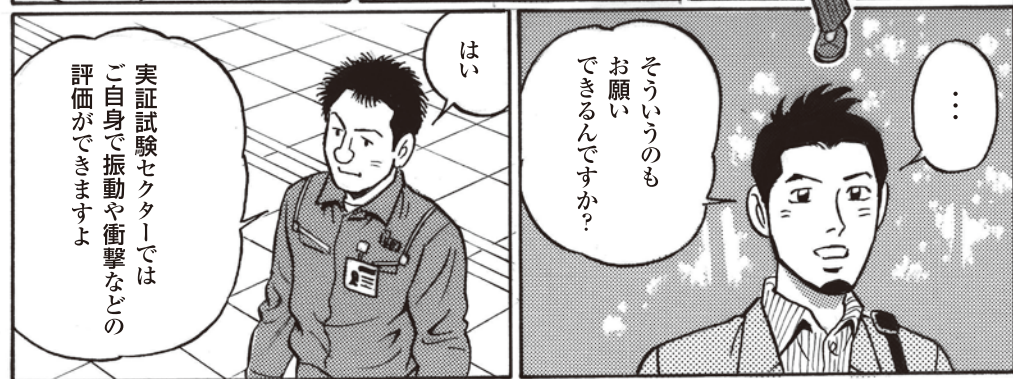
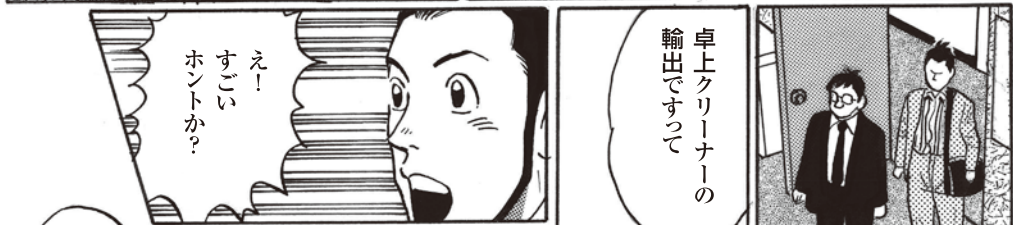
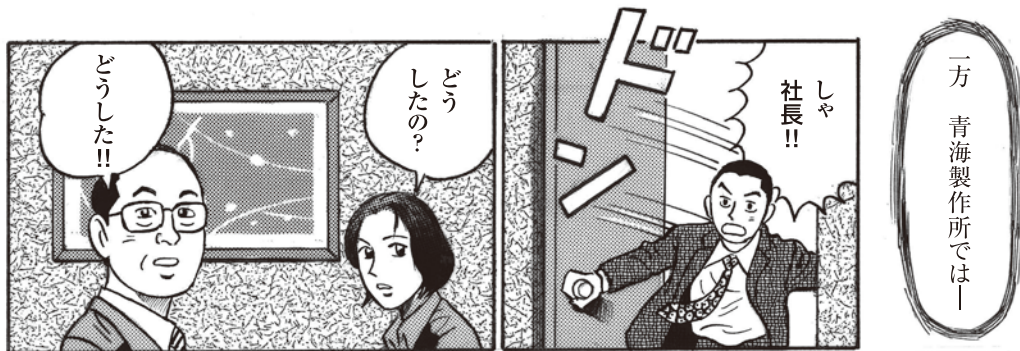


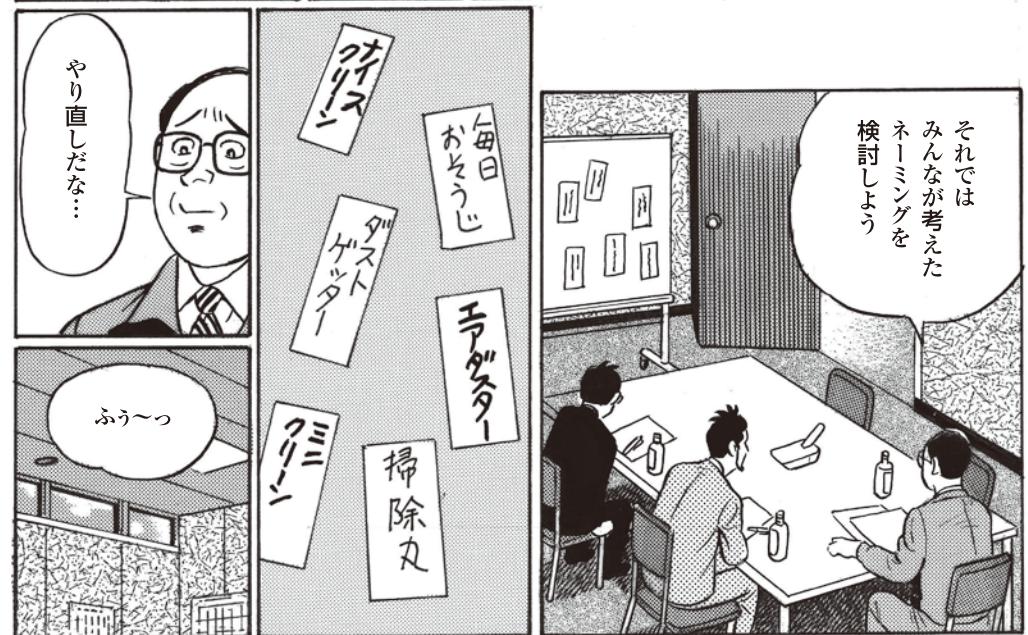


一週間後



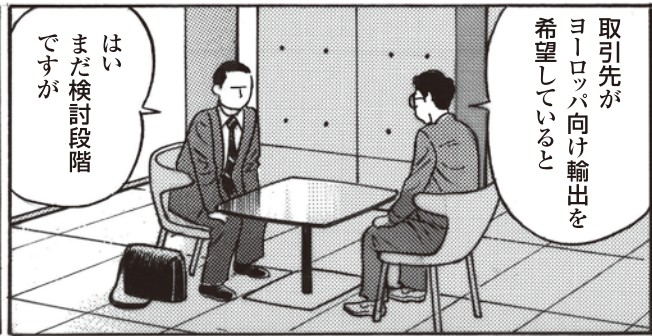




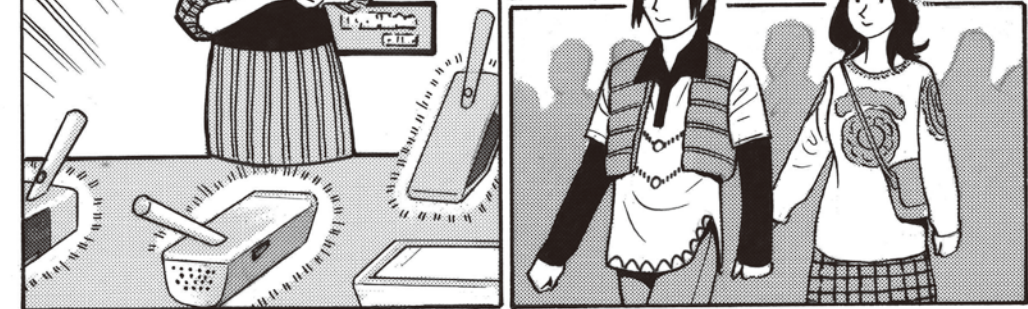
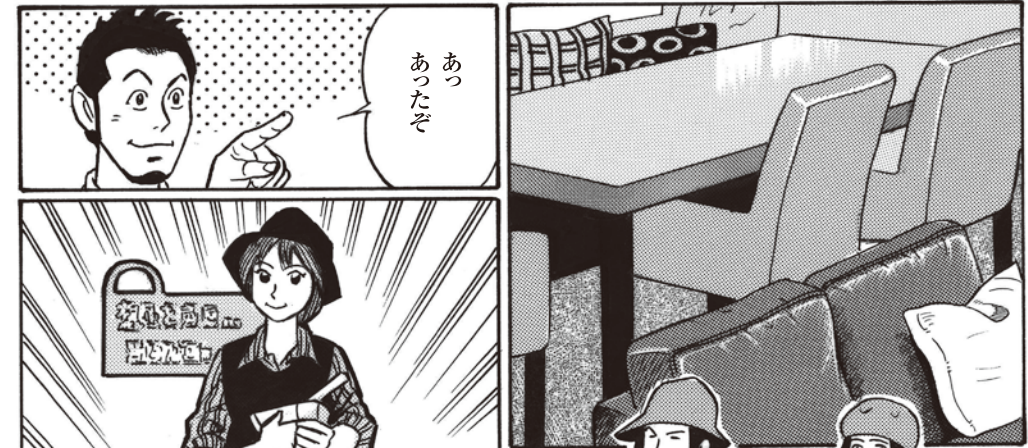
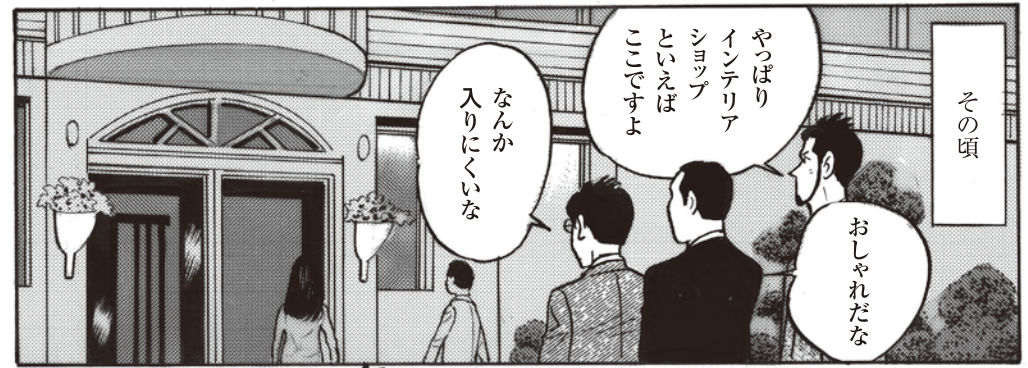
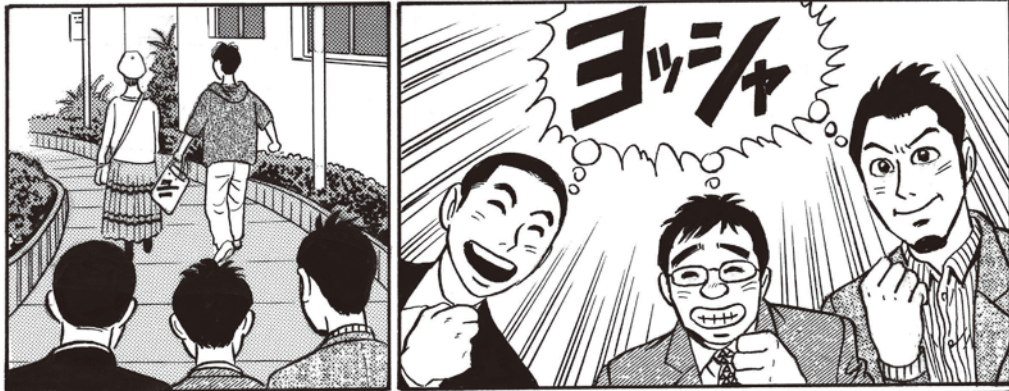




「Laccu」の  
発売に向けて青海製作所は  
社長以下全員  
フル稼働で働いた







# 東京都立産業技術研究センター

東京都立産業技術研究センター（都産技研）は、都内の中小企業の技術支援を通じて産業振興を図っています。平成23年10月には、「ものづくりイノベーションの総合支援基地」として臨海副都心に新たな本部を開設し、従来以上に中小企業支援を強化しております。この新本部では、新製品、新技術開発に積極的な中小企業を支援するべく、3つの技術支援セクター、「高度分析開発セクター」、「システムデザインセクター」、「実証試験セクター」を開設し、さらには24時間利用可能な製品開発支援ラボも多数設置いたしました。東日本大震災からの産業復興に果たす中小企業の役割は大きく、中小企業の皆様には都産技研の一層の活用をお願い申し上げます。

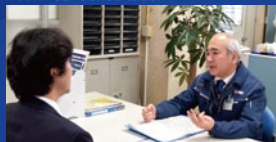


東京都立産業技術研究センター  
理事長 片岡 正俊

## お客様とともに歩む都産技研

東京都立産業技術研究センターは、産業技術に関する依頼試験、研究開発、技術相談、人材育成などの技術支援により、都内中小企業の振興を図り、これを通じて都民生活の向上に貢献しています。

### Technical Consultation



#### 技術相談

情報、電子、機械、材料、化学、バイオ、製造技術、環境、デザイン、繊維など幅広い分野の技術相談をお受けします。（無料）

### Requests and Testing



#### 依頼試験

お客様のニーズにお応えして、試験・測定・分析を行います。結果に基づいて技術的なアドバイスも行います。

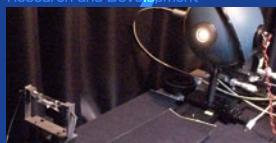
### Equipment Usage Service



#### 機器利用

様々な試験機器を利用して、お客様自身で製品や材料等の試作、測定、分析を行うことができます。

### Research and Development



#### 研究開発

中小企業の技術課題解決、技術開発、製品開発を行います。企業等との共同研究で新製品や特許が生まれています。

## 中小企業の技術支援

Technical Assistance

### Technical Seminars and Trainings



#### 技術セミナー・講習会

企業の現場で活躍する産業人材の育成のために、技術セミナーや実習を組み合わせた講習会を開催します。

### Made-to-order Support Business



#### オーダーメイド事業

お客様の個別のニーズにお応えする、オーダーメイド試験、オーダーメイドセミナー、オーダーメイド開発支援を行います。

### Cooperation and Collaboration for Industry



#### 産業交流

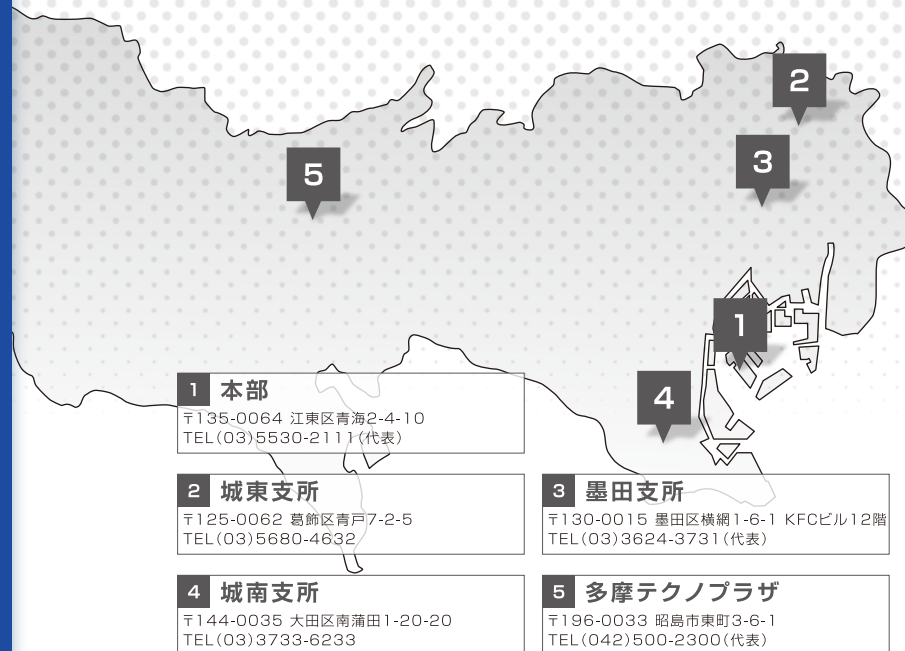
専門コーディネーターによる産学公連携支援、中小企業の交流支援の場「東京イノベーションハブ」の設置、異業種交流の支援を行います。

### Publication of Industrial Information



#### 情報発信

研究発表会、展示会出展、刊行物、ホームページ、見学等により、各種事業やその成果を情報発信しています。



実は私自身、今回この漫画製作のお話をいただくまで、東京都立産業技術研究センターの存在を知りませんでした。資料を読み進めるうちに、中小企業のための多岐にわたる技術支援がなされる場所であることを知り、まさに「ものづくりイノベーションの総合支援基地」、知れば知るほど魅力が深まる施設だと感じました。厳しい経済情勢が続く今、中小企業は自社での先端製品開発など、大企業に頼らない新たなビジネス展開が必要となってきていますし、大いに利用すべきでしょう。私も、漫画という形で施設をよりわかりやすく伝えることに、一人でも多くのものづくりの携わる方のお役に立ちたいと心がけて取り組んでいます。（弘兼憲史）

監修にあたって